2023年4月期 第２四半期 決算説明会

株式会社スリー・ディー・マトリックス（証券コード：7777）
2022年12月

目次

１．会社紹介

２．2023年４月期 第２四半期の業績

３．開発パイプラインと進捗

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

目次

1．会社紹介

2．2023年４月期 第２四半期の業績

3．開発パイプラインと進捗

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

MIT発ベンチャー企業





3D MATRIX MEDICAL TECHNOLOGY

- 当社がグローバル独占ライセンスを持つ「自己組織化ペプチド技術」は
  マサチューセッツ工科大学（MIT）により1990年代に発明された

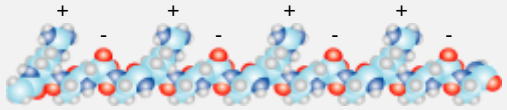
- 3-D Matrix（米国法人）はもともとはMITとMITのscientific
  foundersによって2001年に創業された
  - Shuguang Zhang (*Head, Molecular Architecture Group, MIT)*
  - Alexander Rich *(Professor, Biophysics, MIT and Harvard Medical School)*
  - Robert S. Langer *(Professor, Chemical Engineering, MIT)*

  etc.

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

コア技術「自己組織化ペプチド」

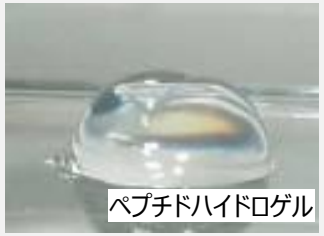
自己組織化ペプチドとは、
生理的条件下（中性pH、血液や体液等の存在）に置くことで、瞬時に**ナノファイバーを形成**し**ゲル化する**ペプチド。その三次元構造は天然の**細胞外マトリックス（ECM）と酷似しており、多数のヒトの細胞の増殖を支える「足場素材」としての機能を持つ。**



ペプチド分子



ナノファイバー形成



ペプチドハイドロゲル

自己組織化ペプチドの3つの特徴

原料に生物由来品を含まず、ウイルス等の感染リスクがない。分解してもアミノ酸である。

高い安全性

水溶液でゲル化し、透明で扱いやすい。均一品質で、大量合成が可能。

高い操作性

ペプチドの配列、ペプチド濃度を変えることで用途に応じた物性を造り出せる。

高い拡張性

人体にもともと存在するアミノ酸をいくつか結合させること（ペプチド）で、自然に自己集合させ、複雑な３次元構造をつくることができるユニークな技術。

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

「自己組織化ペプチド」の技術優位性

自己組織化ペプチドは、人工製品と生物由来製品の良さをあわせ持つ、医療用途に適したバイオマテリアル。

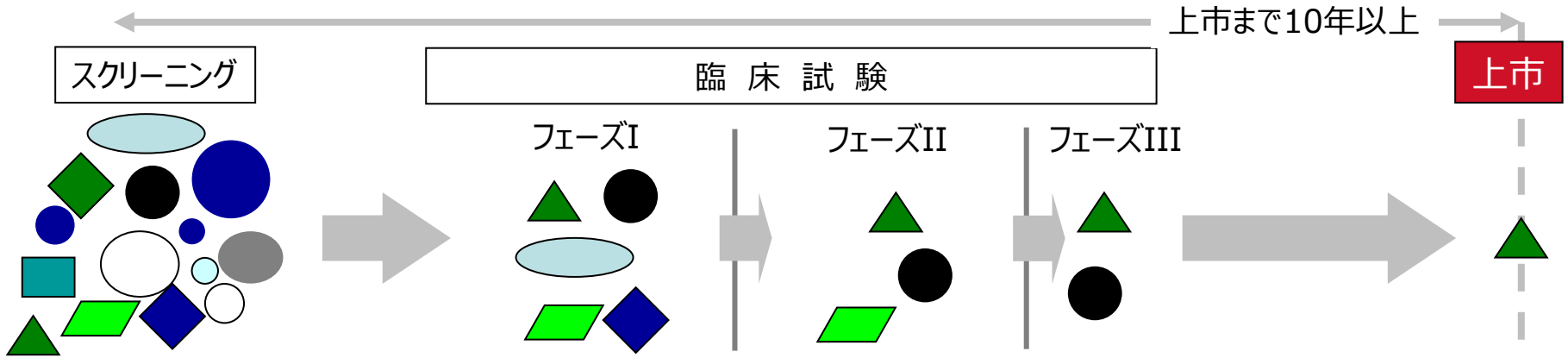
項目		人工製品	自己組織化ペプチド	生物由来製品
安全性（感染リスク）	狂牛病などのウイルスを含まない。	○	○	×
生体適合性	人体になじみ、炎症などを起こさない。	×	○	○
生分解性	いずれ分解され、体外に排出され、体内に残らない。	×	○	○
拡張性	用途に応じて、様々なバリエーションが作れる。	○	○	×
品質の安定性	同じ品質で、大量に作れる。ばらつきによる不具合が起きない。	○	○	×
例		ポリマー、セラミック、アパタイトなど		フィブリン、コラーゲン、ヒアルロン酸など

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

自社開発製品のため、収益を可能な限り確保するモデル

医薬品の開発：臨床試験も長く、上市まで時間・コストがかかる。1つ1つ物質が違うため応用が効かない

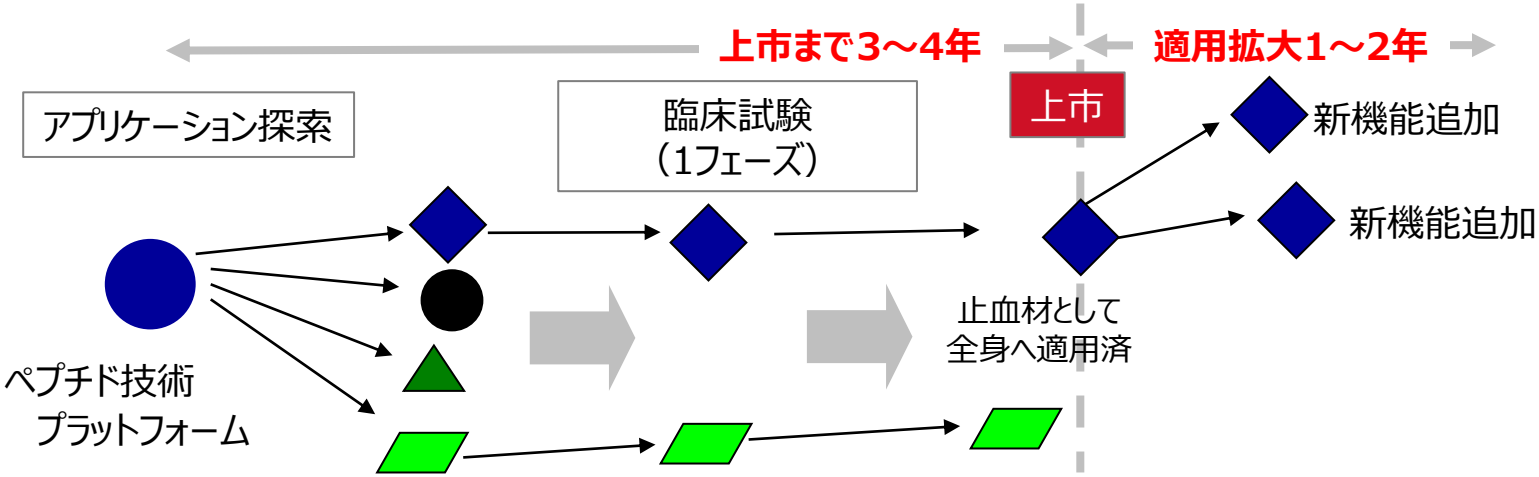
一般モデル
- ライセンスアウトが必須
- 収益の大部分が外部に流出



医療機器としての開発： 上市までの開発コストが小さく、さらに適用拡大によりニーズの高い用途を継続追加

3D MATRIX MEDICAL TECHNOLOGY

当社モデル
- 自社で上市まで可能
- 既に全身で使われているため適用拡大が容易
- 収益のアップサイドが全て当社に残る



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

製品のグローバル展開

すでに日、米、欧それぞれに複数の上市製品を有し、事業リスクを分散。
先行地域の成功事例をほか地域に適用し、市場リスクを最小化。



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

目次

１．会社紹介

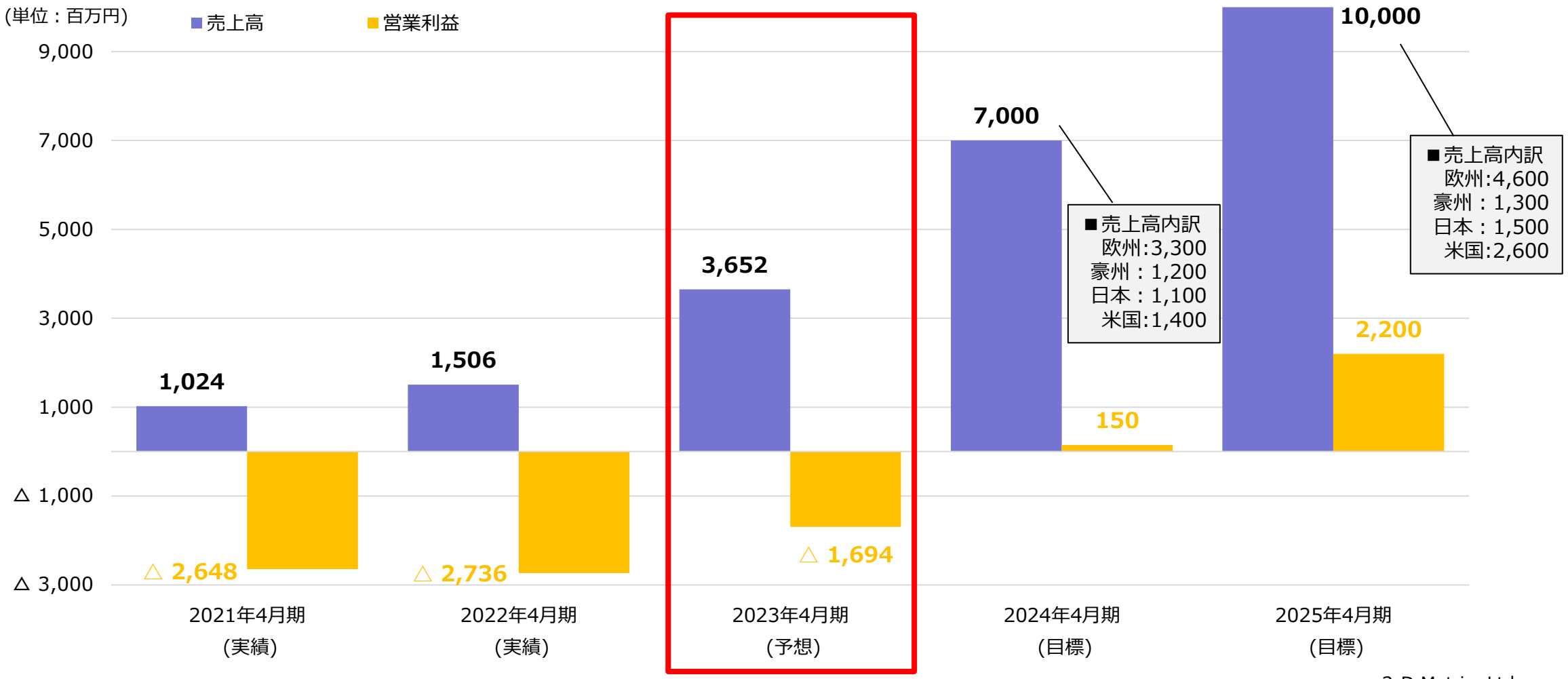
２．2023年４月期 第２四半期の業績

３．開発パイプラインと進捗

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

中期的業績イメージ

2023年4月期は売上高36億円、営業利益△17億円の予想。2024年4月期の黒字化達成を目指す。



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

損益計算書の概要

製品売上は前年比54%増、粗利は2.5倍に拡大。しかしながら円安の影響により円ベースのコストが増加し、営業赤字は拡大。為替差益により経常利益、純利益は大幅改善。

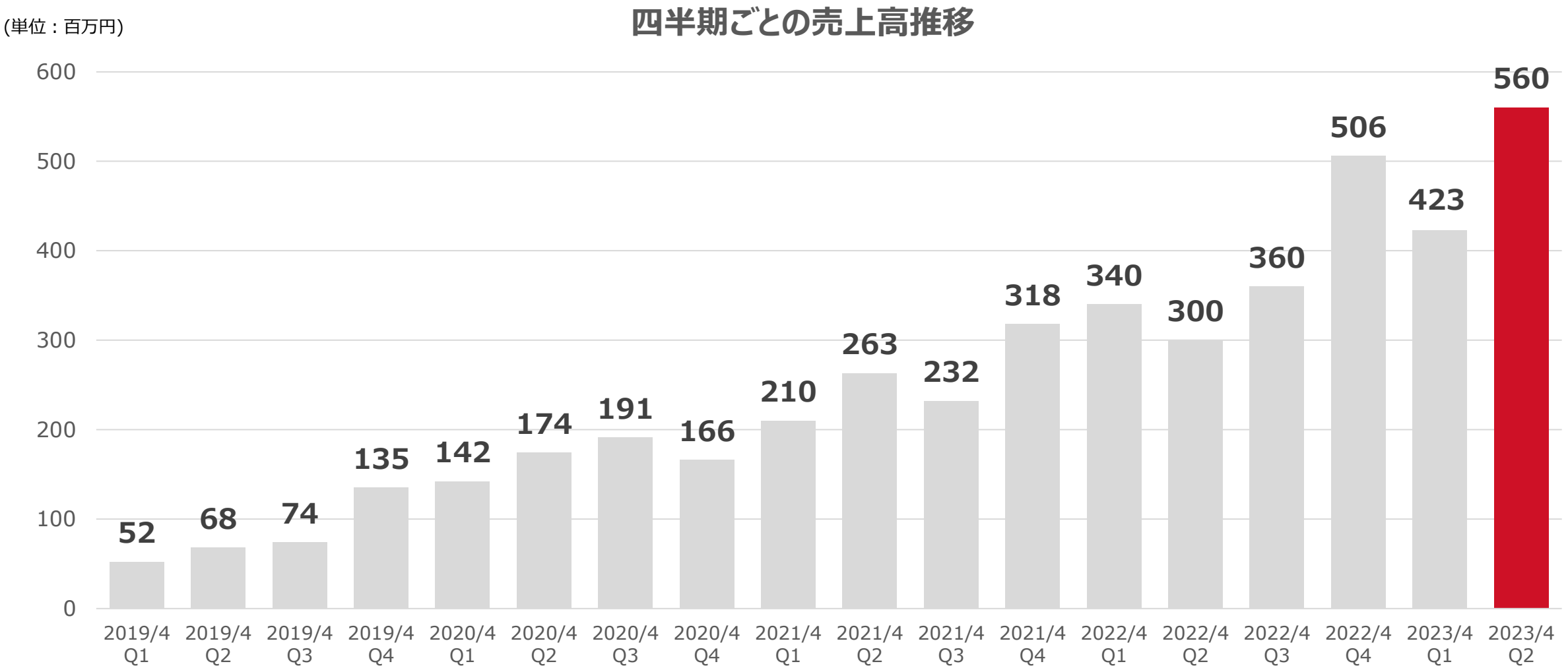
(単位：百万円)	2023/4月期 Q2	2022/4月期 Q2	増減
事業収益	984	640	+344
売上原価	424	418	+6
粗利益	560	222	+338
粗利率	57%	35%	+22%
研究開発費	219	360	△141
販管費	1,973	1,233	+740
営業利益	△1,632	△1,372	△260
経常利益	△356	△1,202	+846
純利益	△380	△1,242	+862

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

四半期売上実績推移

対前年同期比では約54%成長し、過去最高の売上を更新。

(単位：百万円)



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

貸借対照表の概要

第6回CB及び第33回新株予約権発行により、約20億円調達済み。

(単位：百万円)	2023/4月期 Q2	2022/4月期 Q2	増減
流動資産	6,219	5,082	+1,137
現金及び預金	2,414	2,917	△503
売掛金	549	270	+279
たな卸資産	2,602	1,488	+1,114
その他	654	405	+249
固定資産	48	30	+18
資産合計	6,267	5,112	+1,155
流動負債	1,022	844	+178
借入金	400	400	-
その他	622	444	+178
固定負債（転換社債等）	4,112	1,675	+2,437
負債合計	5,135	2,541	+2,594
純資産	1,132	2,571	△1,439
負債･純資産合計	6,267	5,112	+1,155

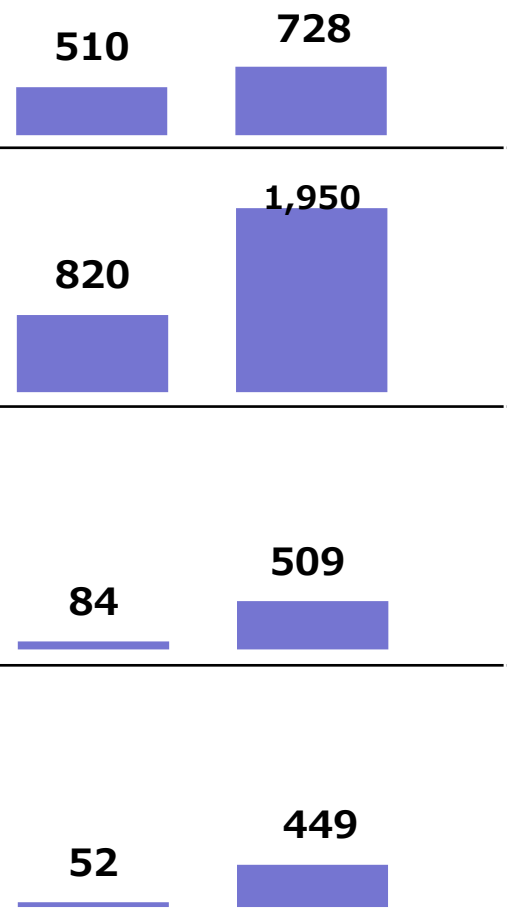
This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

エリア別の前期と2023年4月期の計画

エリア	前期	2023年4月期
オーストラリア	通期黒字化達成	**収益拡大** 営業利益数百万円台から数億円台へ拡大
ヨーロッパ	単月黒字化達成	**通期黒字化** 営業利益マイナスからプラスへ転換
日本	予算達成	**営業効率の向上** 多くのリードを確実に売上にする
米国	ENT:戦略変更 GI:販売準備	**勝ちパターンの確立** 営業規模拡大に向けた準備

売上高比較
(2022.4期実績：2023.4期計画)

(単位：百万円)



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

オーストラリアの販売活動の進捗

一時的に成長が鈍化したものの、収益性は改善。下期以降に延期された需要を取り込んでいくことで業績の挽回を狙う。

- 選択的手術（命にかかわらない不要不急の手術）に対する規制は夏頃から緩和されたものの、病院側でスタッフの不足が発生しており、手術件数の回復が想定より緩やかなものとなっている
  - 手術ができないと民間病院は大きな売上を失う
  - 政府主導による民間保険の改悪も病院の収益性を悪化させている
  - そのため多くの民間病院がスタッフの稼働率を下げている

- そのためQ2は大幅に計画値を下回り、前年同期をも若干下回った

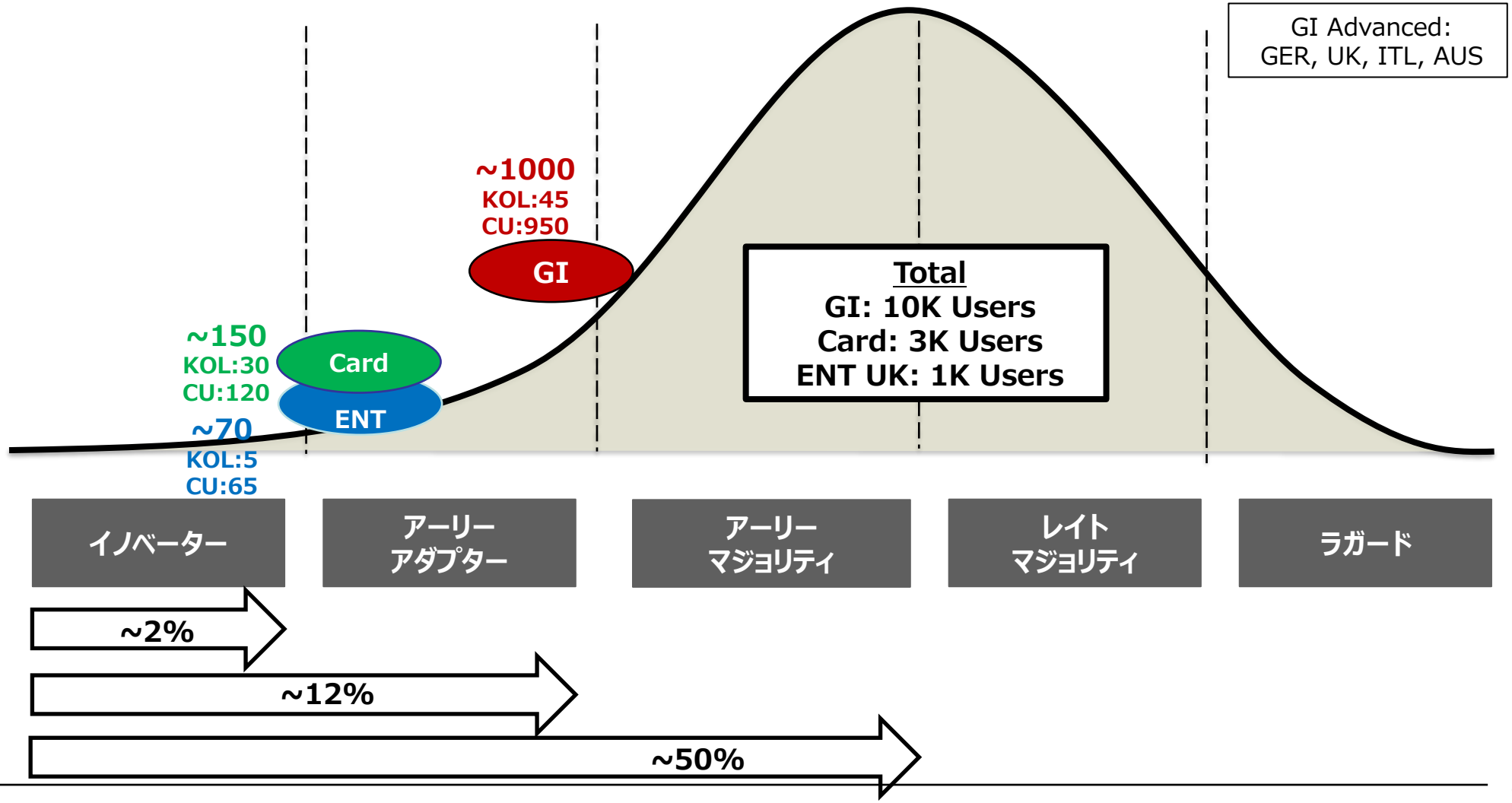
- しかしながら原価低減が継続しているなどの効果で収益性は維持しており、黒字化の足かせとはなっていない

- 直近では需要の回復の効果が見られ始めており、下期は病院スタッフを早期に確保する力のある主要病院をターゲットとして、累積されている需要を取り込む

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

ヨーロッパ市場への普及率

ヨーロッパのGI領域のターゲットはアーリーマジョリティ層に移行しつつあり、成長スピードが急拡大する段階に移りつつある。

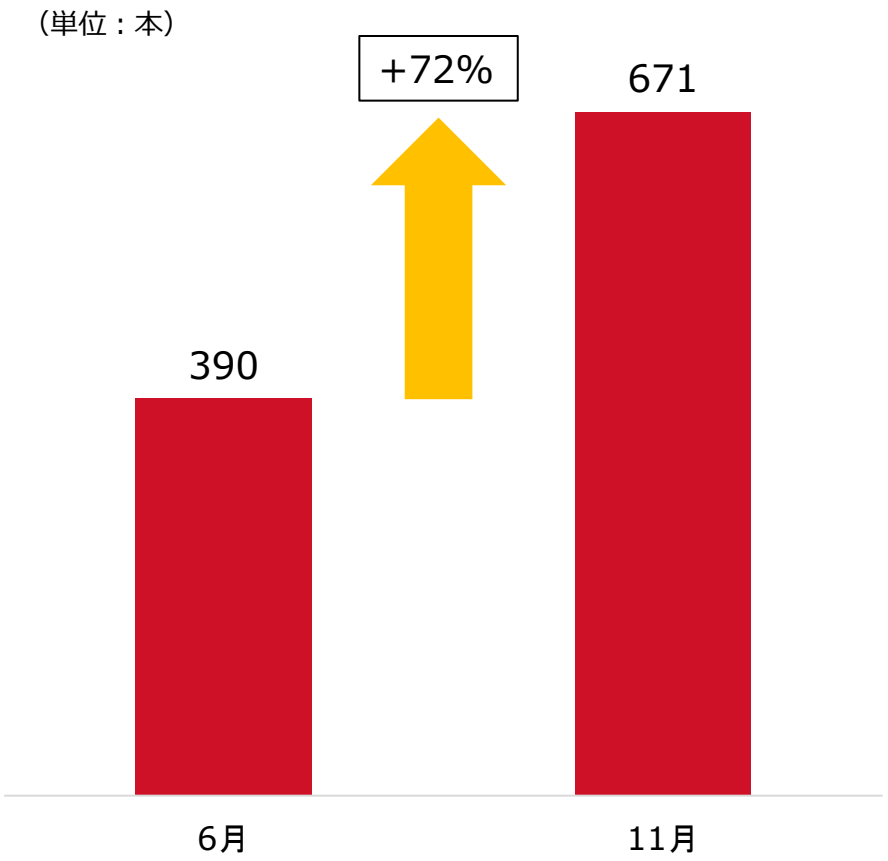


This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

ヨーロッパの販売活動の進捗：英国

英国は、既存病院でのユーザー拡大により5ヶ月で72%の使用量拡大を実現。

PuraStat 月次販売本数
（英国：2022年）



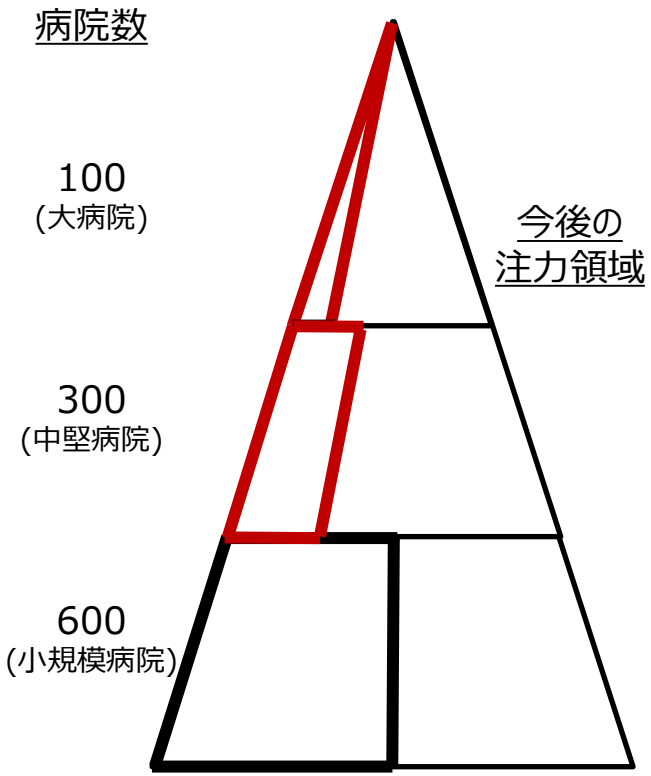
- 既存顧客病院の**内鏡医を全て特定**し、**未ユーザーに焦点**を当てた営業を積極的に展開
- その際、その病院で既にユーザーになっている**KOLの影響力**を最大限活用
- 未ユーザーが感じる止血ニーズに十分応える説明ができれば**80%以上の確率でユーザー化**可能
- 英国での富士フイルムの代理店Aquilantの各営業とポテンシャルが大きな病院から順に取組み

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

ヨーロッパの販売活動の進捗：ドイツ

ドイツは、FUJIFILM EUROPE E.V. との協業で、10倍の事業規模までの成長が自然に見通せる。

ドイツの市場構造



富士フイルム・Nicolaiの対象市場規模

	ターゲット病院数	病院当り医師数	医師当り使用本数		想定規模
富士フイルムの主要市場	～400	～6人	～5本/月	=	~12,000本/月
Nicolaiの主要市場	～ 600	～2人	～1本/月	=	~1,200本/月

x10

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

ヨーロッパの販売活動の進捗

Q2時点では成功事例は得られている。あとは下期にこの成功を面で拡大していけるかが鍵となる。

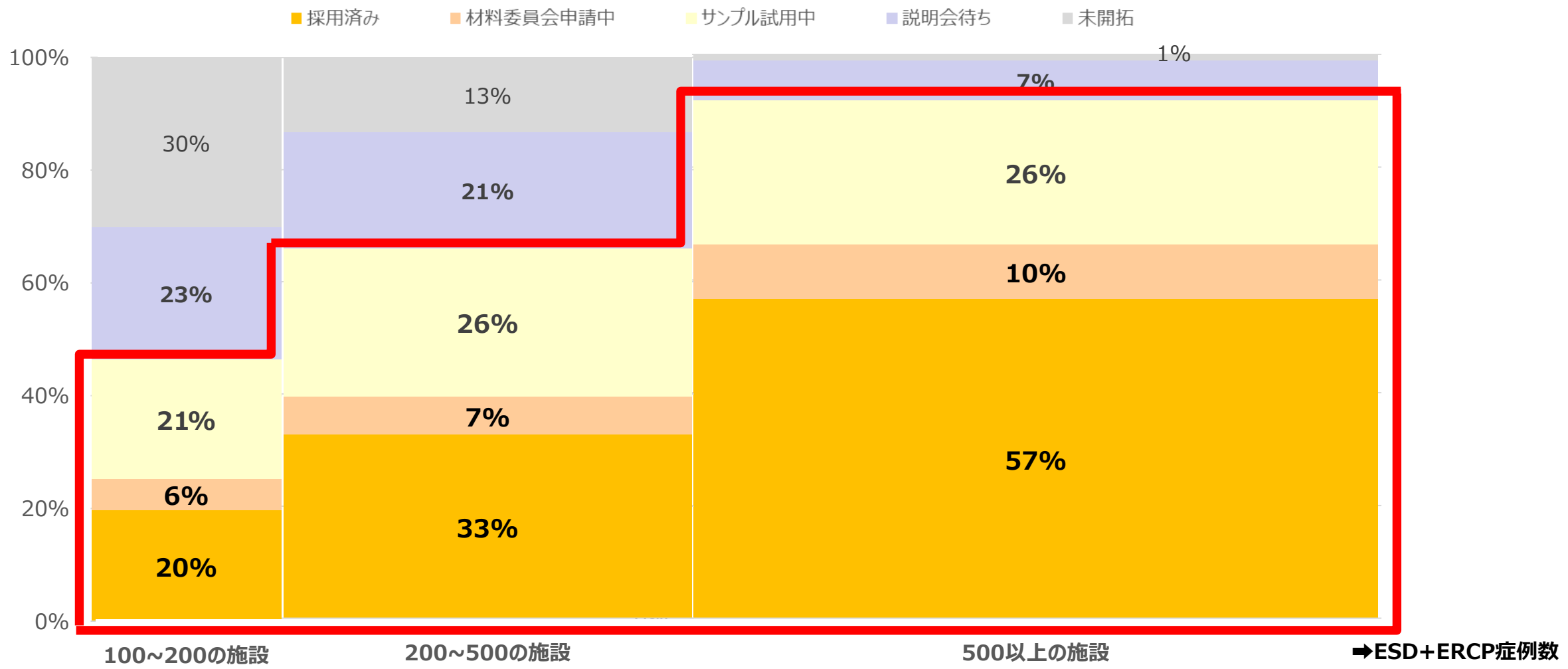
- GI内視鏡領域においては、ほぼ計画通りの進捗。下期において、UKでの成功をドイツをはじめとする主要国で再現できるかどうかが勝負
  - 下期はさらに高い成長を計画しているものの、同じスピード感で施策が奏功すれば達成可能（アカウントは既に空いているので大きなリードタイムは必要ない）
  - 面での活動が必要となるため、販売パートナーの強い協力が必要

- ENT（耳鼻咽喉科）、心臓血管外科に対する直販は遅れがみられるものの、Q1に比べQ2では挽回してきており、下期のさらなる成長が期待できる
  - 製品価値の訴求は効果が得られており、アカウント獲得も進んでいる
  - 販売の遅れは需要側ではなく、こちらの販売の稼働状況によるもの（採用の遅れなど）

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

日本の販売活動の進捗

症例数500以上の施設を中心に、製品採用が急速に行中。



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

日本の販売活動の進捗

前期に引き続き強い引合いを頂いており、ほぼ計画通りの進捗。

- Q2終了時点でほぼ計画通りの実績
  - 夏にコロナ第７波の影響を受け手術件数が減少したものの、Q2時点では大きな遅れは発生していない
  - 販売開始から1年足らずで、オーストラリアと同等の売上を達成

- 営業一人当たりの貢献利益は損益分岐点に近づいており、今期中にはプラスに転じる可能性が高い

- 来期以降、さらに営業規模を拡大して利益貢献を拡大させていく予定

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

米国の販売活動の進捗

Q2累積売上は前年同期比で6倍以上の成長を達成。ENTは販売戦略変更の成果が現れるのに時間を要していいるものの、今期より販売開始したGI止血材は順調な進捗。

- 売上は大幅に拡大
  - 前年同期比で6倍以上、対Q1でも3倍以上
  - 対計画比でもQ1からQ2にかけて大きく遅れを取り戻しつつある

- GI（消化器内視鏡領域）
  - 2022年7月より販売開始
  - Q2はほぼ計画通りの進捗で、高い製品価格が収益性に貢献
  - ターゲットである米国を代表するトップ100の施設のうち、30施設以上で既に購買が開始

- ENT（耳鼻咽喉領域）
  - 前期より販売戦略を変更し、Q1時点で営業体制再構築が完了
  - 現在はGIと連動して米国トップの病院の新規開拓に注力
  - 数件の成功事例が出てきているものの、計画を上回る時間を要している

- 下期は営業リソースをよりGIにシフトし、更なる成長を目指す

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

目次

１．会社紹介

２．2023年４月期 第２四半期の業績

３．開発パイプラインと進捗

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

主要パイプラインの開発状況（2022年12月現在）

ある地域の成功を他地域に移植し、開発リスク、市場リスクを最小化する。日米欧それぞれに複数の上市製品を有し、大きな成長ポテンシャルを獲得。

領域	製品	欧州	米国	日本
外科領域	止血材（PuraStat）	上市済み	上市済み	上市済み
	Primary Bleeding（PuraStat）	適応拡大準備中	適応拡大申請済み	上市済み
	後出血予防材（PuraStat）	上市済み	上市済み	
	次世代止血材	検証的臨床試験のエンロールメント開始	開発戦略検討中	開発戦略検討中
	粘膜隆起材（TDM-644）			**上市済み（2022.12.1より保険適用開始）**
	癒着防止材：鼻（PuraSinus）		上市済み	
組織再生領域	癒着防止材：産婦人科	ヒトPOC試験準備中		ヒトPOC試験準備中
	創傷治癒材（PuraDerm）		美容整形向け臨床データ収集中	
	直腸粘膜炎（PuraStat）	臨床試験準備中	上市済み	
	炎症性腸疾患	ヒトPOC試験準備中		ヒトPOC試験準備中
DDS領域	siRNA核酸医薬（TDM-812）			治験計画策定中
	悪性胸膜中皮腫			共同開発先にて医師主導治験の組み入れ開始
	ワクチンデリバリー		米Tulane大と共同研究開始	

表：開発パイプライン

：承認済み

：開発中

3-D Matrix, Ltd
by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

粘膜隆起材「ピュアリフト」保険適用開始

再生 | 外科 | DDS

粘膜下注入材「ピュアリフト」、2022年12月に特定保険医療材料として保険適用開始。

粘膜下注入材「ピュアリフト」



- 保険適用が認められ、病院は費用の持ち出しがなくピュアリフトを使用することが可能となった
- 高い操作性、安全性により既に一部医師から強い期待あり
- 「ピュアスタット」販売時のフックとし、クロスセルとして「ピュアスタット」販売拡大にも貢献
- 中期計画に含めていないため、売上のアップサイド要因となる

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

止血材の市場規模

再生 | 外科 | DDS

米国での承認取得によって、日米欧で1,000億円以上ある消化器内視鏡向け市場にアプローチする準備が整った。

消化器内視鏡向け
止血材潜在市場

1,043億円[2]

消化器内視鏡向け止血材顕在市場

419億円[1]

市場製品例	メリット	デメリット
止血クリップ	あらゆる出血に対応可能	止血力が不完全
焼灼止血鉗子	あらゆる出血に対応可能	穿孔や後出血のリスクあり
止血パウダー	強い噴出性出血に対し、緊急避難的にのみ使用	視野を白濁させるため手技継続不能
シーラント	止血力が強力	塗布面が硬化し予後に悪影響
パッキング材	自己溶解性のスポンジで鼻腔をふさぎ止血	毎日数回鼻腔洗浄が必要
汎用止血材	汎用性が高い	不透明で出血点が見づらい、生物由来で感染リスクあり
当社止血材	透明で扱いやすい、感染リスクがない、癒着防止等	噴出性出血には向かない

止血材潜在市場

止血材全体顕在市場

3,800 億円[3]

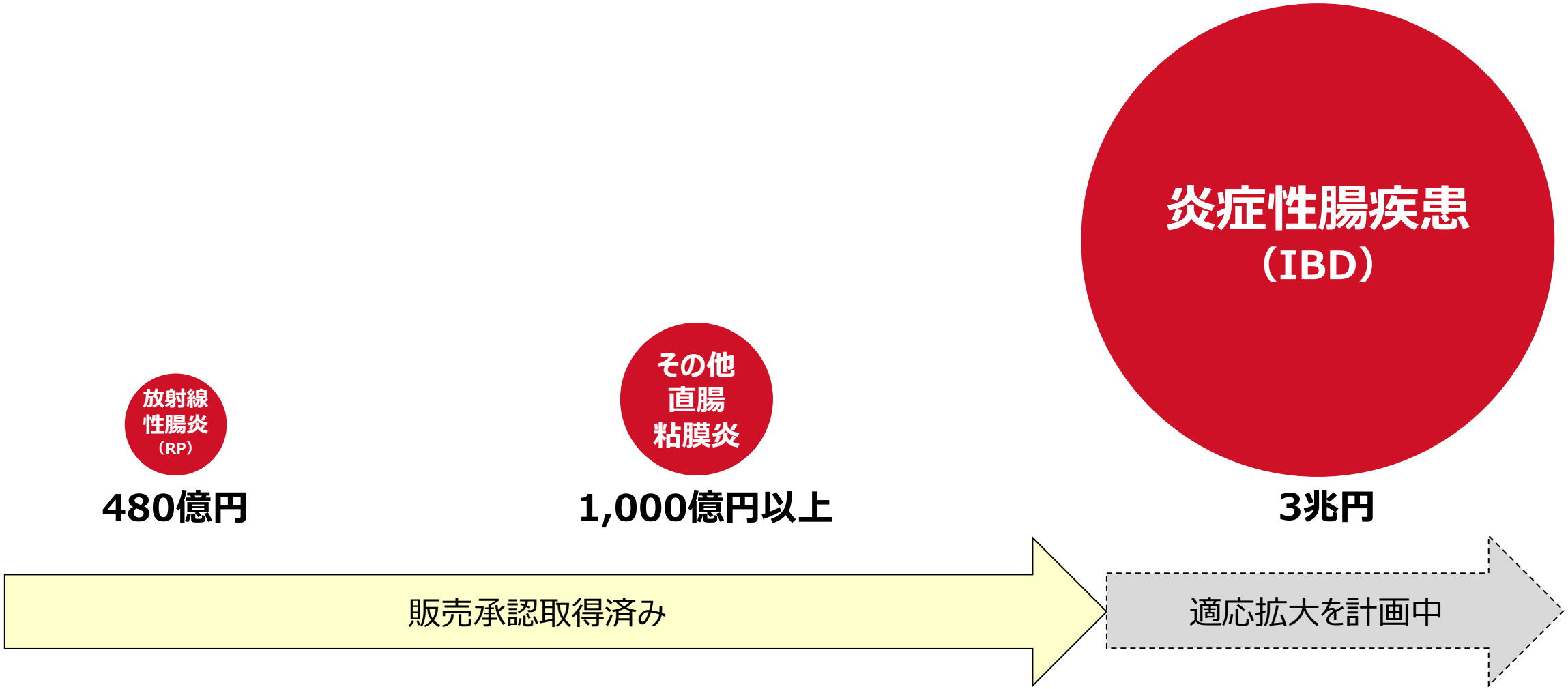
1: 弊社推計 … 欧州主要五か国（独英仏伊西）における内視鏡手術における滲出性出血の件数（約43万件。全内視鏡手技の約3%）に弊社平均販売価格を乗じ欧州主要五か国の市場規模を算出。この値を2018年度GDP規模の比率で全世界向け市場規模に換算
2: 弊社推計 …欧州主要五か国（独英仏伊西）において想定される自発性消化器出血の件数（約40万件）、放射線性大腸炎による重篤な出血の件数（約3.5万件）に弊社平均販売価格を乗じ欧州主要五か国の市場規模を算出。この値を2018年度GDP規模の比率で全世界向け市場規模に換算
3:出所 … 2020, MarketsandMarkets, “Hemostats Market by Type, Application, Formulation - Global Forecast to 2026”

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

消化管の創傷治癒の市場規模

再生 | 外科 | DDS

米国にて直腸粘膜炎の販売承認取得、その適応範囲は大きい。



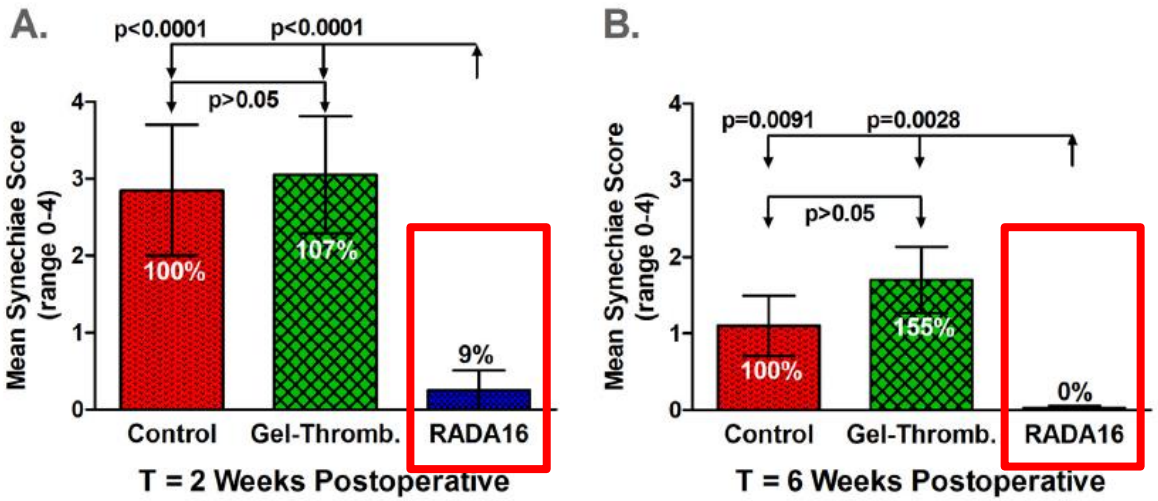
出所：Transparency Market Research：市場調査レポート「放射線性直腸炎の世界市場 (2020-2030年)：産業分析・市場動向・市場シェア・市場成長予測」より2022年市場規模を推定,
Pharmaceutical “Inflammatory Bowel Disease Treatment Market” published in May 2022 より引用

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix’s prior written consent.

自己組織化ペプチドの創傷治癒効果

羊の鼻腔手術モデルで、自己組織化ペプチドの創傷治癒効果が認められた

図：鼻腔内癒着（synechiae）のグレード



【目的】

- 自己組織化ペプチドであるRADA16を用いたハイドロゲルの止血効果および創傷治癒効果について、羊の鼻腔手術モデルにて評価すること

【方法】

- 鼻粘膜に損傷のある30頭の羊に対し、RADA16、ゼラチン-トロンビン、無処置の３パターンにて無作為に割り振った

【結論】

- RADA16、ゼラチン-トロンビン双方に有効な止血効果が認められたが、RADA16のみの投与では術後6週目において、癒着（synechiae）は認められなかった
- 病理組織学的には、**創傷治癒スコアが向上した。これは粘膜下層の繊維化を阻害していることと、血管新生を促進していることに起因する。**

出所：Michael Fook-Ho Lee, Arjuna Amanda, a self-assembling peptide gel for hemostasis, synechiae reduction and wound healing in a sheep model of nasal surgery, Published 2022

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

炎症性腸疾患（IBD）開発プラン

再生 | 外科 | DDS

- 日本のKOLにより、有望な動物実験の結果が示されている
  - 自己組織化ペプチドによる治療により、潰瘍の長さと面積が大幅に減少し、さらにin vivoの腸創傷モデルにおける治癒を促進した。IBDの有望な治療戦略を表す可能性がある。
  - 論文：
    - Therapeutic Potential of a Self-Assembling Peptide Hydrogel to Treat Colonic Injuries Associated with Inflammatory Bowel Disease, published online 2021

- ヒトでのPOC取得を目指し、医師主導臨床研究を計画中
  - 日本：2023年初旬に開始予定
  - フランス：日本の研究結果を見定めてから開始する予定

- 自己組織化ペプチドと既存薬との併用療法が、最終的解決策の候補となり得る。その可能性を追求するため、日本において下記を計画
  - 動物比較試験を準備中で、今期中にエビデンス取得予定
  - 動物比較試験の結果次第で、ヒトでのPOC取得のための医師主導臨床研究を計画

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

癒着防止材の産婦人科領域への展開

再生 | 外科 | DDS

- 鼻の手術で癒着防止の有効性が証明されている
  - 米国：FDAの販売承認取得
  - オーストラリア：60の臨床データで癒着ゼロ
  - 論文：
    - M. F. Lee, Z. Ma, A. Ananda, 'A novel haemostatic agent based on self-assembling peptides in the setting of nasal endoscopic surgery, a case series', International Journal of Surgery Case Reports, published online 2017
    - Eun Seok Gil, Elton Aleksi and Lisa Spirio, 'PuraStat RADA16 Self-Assembling Peptide Reduces Postoperative Abdominal Adhesion Formation in a Rabbit Cecal Sidewall Injury Model', Frontiers in Bioengineering and Biotechnology, published online 2021

- 既存市場10億ドル超の産婦人科領域への適応拡大準備中
  - ヒトでのPOC取得に向け、医師主導臨床研究を準備中
    - 日本：子宮筋腫に対する子宮鏡手術
    - 欧州：子宮内膜症に対する腹腔鏡手術
  - 治験準備のため、日本において動物による安全性試験を計画
  - 現在のペプチドに加え、新しいペプチド配列から最適な候補を特定し、並行して検証

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

核酸医薬DDS開発プラン

- パートナーのPURMX Therapeuticsが広島大学にて実施中の医師主導型第Ⅰ層治験（肺気腫）で、当社A6Kペプチドのヒトでの安全性データが得られる見込み

- 技術的価値を証明するための基礎研究が進行中であり、本年中に最初の結果が示される予定
  - A6Kを全身に投与する新しい使用方法
  - CD-44（がん幹細胞候補の一つ）を発現しているがん細胞へのA6K導入に関するデータ
  - EUの国立大学との共同研究により、A6KのDDSのメカニズムの解明

- これらの成果を基に、より多くの共同研究を推進し、核酸医薬DDSの１つのオプションとしての地位を確立することを目指していく

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

より効果的なワクチンのデリバリーの可能性

米国の大学との共同研究により行われた動物実験によると、当社のペプチドがワクチンのデリバリーに有効であるとの結果が示されている。これを受けさらに人への適用を目指して米国Tulane大と共同研究を開始。

- 共同研究の目的：
  各種ワクチンによる防御免疫反応を高め、強力なアジュバント（主剤の効果向上並びに補助を目的として併用される物質）の**反応性を排除**することで、効率的かつ安全なワクチンデリバリーシステムを開発すること

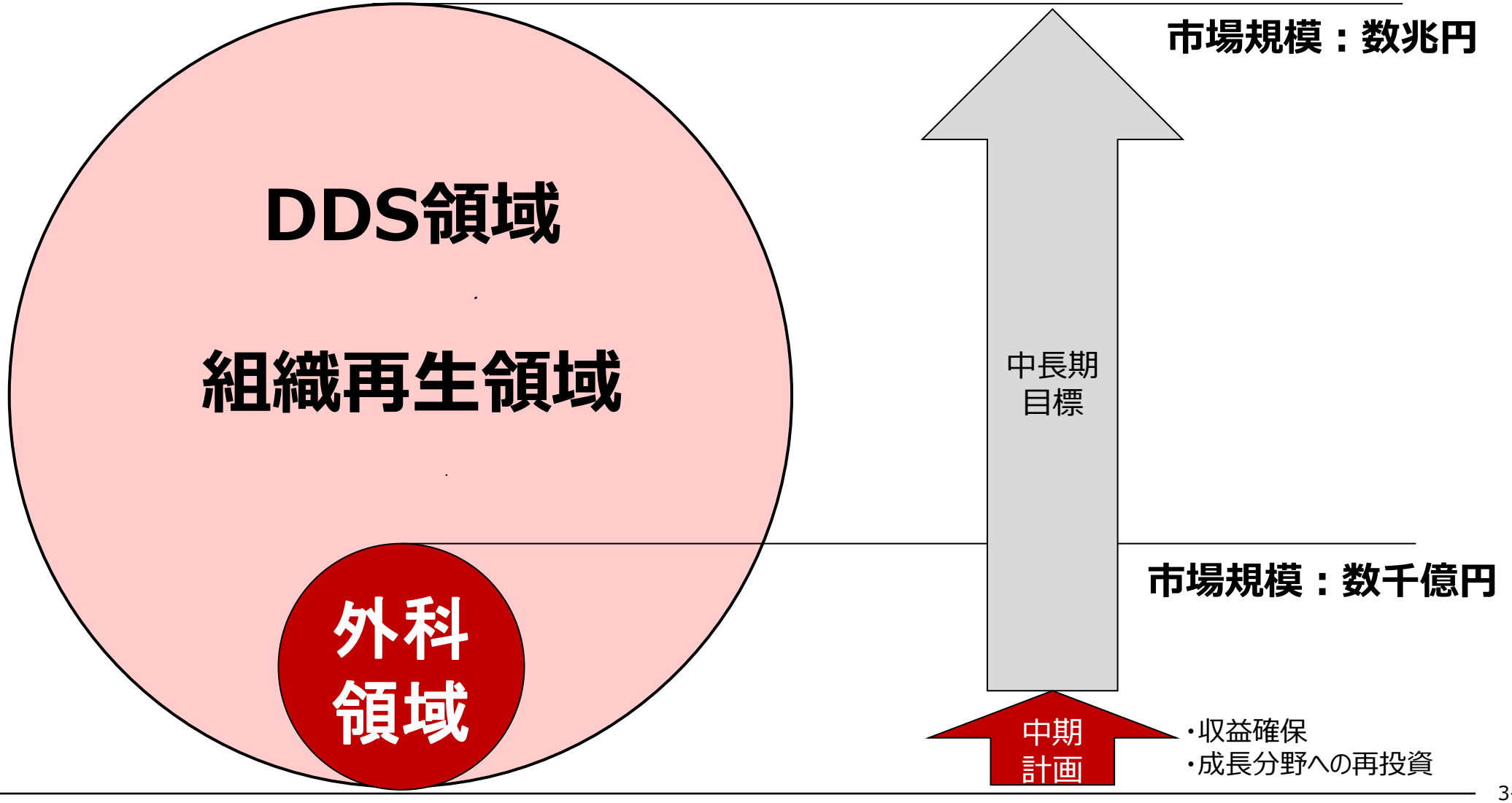
- 共同研究にて期待される可能性
  - 同じレベルの免疫を獲得するために**必要なワクチンの接種回数を減らし、患者の負担を軽減**できる可能性
  - 輸送・保管時のコールドチェーンが不要になり、世界中のより多くの人々がワクチンの恩恵を受けられるようになる可能性
  - 各種**ワクチンの経鼻投与**ができるようになる可能性
  - COVID-19を含む様々なワクチンをプラグインすることで、**より効果的なワクチンとして機能するプラグアンドプレイプラットフォームとして利用できる可能性**

- 米国Tulane大学について：
  Jay K. Kolls医学博士の研究室と共同研究を開始。Jay K. Kolls医学博士は、**ワクチン技術の分野で卓越した研究成果を発揮**しており、51,038回の引用を受けた429の出版物を共著

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

中長期の成長イメージ

外科領域で得られる収益を、10倍以上の潜在市場が見込める新領域に再投資し、さらなる成長ポテンシャルを獲得する。



This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

まとめ

- 売上は計画より遅れはあるものの、前年同期比で54%増加し、下期にさらなる拡大が期待される。
  - 未達の大半はオーストラリアで発生しているが、既に最悪期は脱した
  - EUではUKで打ち手が奏功し、ドイツでの体制も整った
  - 米国はQ1からQ2にかけて計画との乖離が縮まっている
  - 日本はほぼ計画通り推移

- 収益面では、粗利は大きく改善したものの、営業利益は悪化。Q3以降に改善を目指していく。
  - 粗利の改善は継続しており、前年同期比22ポイント上昇、額は2.5倍に拡大
  - 販管費は円安・物価上昇影響もあり増加
  - そのため営業利益はQ1と比較して悪化

- 既に製品を販売している領域の延長に組織再生関連のさらに大きな市場が見えてきており、
  適応拡大に向けてヒトでのPOC試験を早急に進める。
  - 消化管の止血→消化管の創傷治癒→IBD
  - 鼻の癒着防止→産婦人科の癒着防止

- 下期に向けてのリスク要因として以下に注視
  - 物価上昇
  - 為替相場
  - サプライチェーンの逼迫

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

本資料の取り扱いについて

本資料は、株式会社スリー・ディー・マトリックス（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

本資料は当社の事業及び業界動向についての当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。 これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。 既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料の作成時点において当社が入手し得る情報を踏まえたものであり、法令または取引所規則により開示義務を負う場合を除き、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

This information is confidential and was prepared by 3-D Matrix, solely for the use of our partners; it is not to be relied on by any 3rd party without 3-D Matrix's prior written consent.

3D MATRIX
MEDICAL TECHNOLOGY

ご清聴ありがとうございました

■お問い合わせ先
株式会社スリー・ディー・マトリックス

当社ホームページ「IR関連問い合わせ」よりお問い合わせください。
http://www.3d-matrix.co.jp/irform/